

生ける水

発行者
日本福音教会連合
岡山市福浜町7-2
理事長 太田正信
編集 編集委員会

わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その腹から生ける水が引となって流れ出るであろう。ヨハネ7:38

目次

P.1	ラストスパート	太田正信
P.1	時の声	
P.2	教会巡り	阿部俊昭
P.2~3	歌いつつ歩まん	中島高恵
P.3	恵みとしてのホーリネス	須原元勇
P.3~4	御恩寵の神様	中島高恵
P.4	第39回総会及び牧師研修会 報告・案内 etc ...	

ラストスパート

日本福音教会連合

理事長 太田正信

主の年、二〇〇九年も主の
大なる恩寵の中に各教会は
スタートされた事と存じます。
旧年中的ご愛務、ご協力を
心から感謝します。新年も福
音の前進のために宜しくお願
い致します。

二〇〇四年三月の第三四回
連合総会で承認されてスター
トしました、二〇一〇年に向
かっつてのニイマルイチマル計
画は、今年最終コーナーに
入りますのでラストスパート
して勝利のテープを切るため
に、ニイマルイチマル計画の
確認から現状とゴールを見た
いと思ひます。

二〇一〇計画は、信仰部門、
伝道部門、組織、運営部門の
三本柱からなります。
信仰部門とは、「クリスチ
ヤン（牧師も信徒も）のクリ

スト化。

伝道部門とは、「全教会の
成長、発展のための計画と支
援」。

組織、運営部門とは、「規約、
規則、規定等一部改正」です。
信仰部門のクリスチャンの
キリスト化は、クリスチャン

らしいキリスト者、主の弟子、
主の僕らしい成熟を目指し
ての当然の在り方を扱ってい
ます。

伝道部門は、連合が全ての
お膳立てをすると言うよりも
各個教会の実状がありますの
で、連合としては、二〇一〇
年までを四段階の計画表と研
修会の主催や出席支援が打ち
出され、絵に書いた餅になら
ない様に具体的な事は個々の
教会のわざに委ねられていま
す。

組織、運営部門は、連合の
規約、規則、規定が、連合の
根幹を揺るがす程議論されま
したが、信仰的に落ち着く所
に治まり、現実としては謝礼
金が精算分配されて消滅しま
した。

二〇〇四年スタートして満

五年になり残り一年の現実
は如何なるのでしょうか？

①連合創立メンバーの召天
信徒理事であった方々のご
召天もありますが、教職に限
定を許して頂くと

郷 守師、二〇〇五年二月二
十七日八十歳
加藤博重師、二〇〇六年三月
二十四日七十七歳

松田幾雄師、二〇〇七年一月
十七日七十七歳
亀谷莊司師、二〇〇七年八月
十日八十一歳

②離脱教会と加入教会
山口福音教会、大内福音教
会、秋芳キリスト教会、美保
キリスト教会の離脱がありま
したが、多摩キリスト教会の
加入と今春の総会で、日本弟
子たちの教会が加入（理事會
承認）が諮られます。

③少子高齢化社会と教会
どの教会も社会に存在して
いますから、社会問題の影響
が無い訳ではありません。
教職・信徒の皆さんは孤軍
奮闘？しておられますが現状
は厳しい教会がほとんどでは
ないかと思われまます。しかし

二〇〇四年スタートして満

教会は、主が頭であり、主
の教会です。夜が深まれば朝
が近いように、人も状況も悪
い程主の働かれる時です。私
たちのすべき事と主がなされ
る事を弁えてみわざを待ち
望みましょう。

ゴールを目指してラストス
パートをしましょう。

①基本に忠実
スポーツ、芸術ほか何事も
基本が出来ていないと大成し
ません。信仰も例外ではあり
ません。一、神に対する悔改
めと主イエスに対する信仰

（使徒二十章二十一節）、二、
祈りと御言のご用（使徒六章
四節）、三、出て行って福音
を伝える（マルコ十六章二十
節）を大切に励行

②熱心で倦む事無く、霊に燃
え、主に仕え（ロマ十二章）。
③全ては神の栄光のために
（コリント第一十章三十一
節）。

④この身によってキリストが
崇められる生活（ピリピ一
章二十一―二十二節）。

⑤主のご再臨を待望し備える。
十字架の死と復活、昇天の
イエス様は、私たちの救いの
完成、世の裁きに來臨されま
す。二〇一〇計画や組織とし
ての教会や人のためではなく、
純粋に主を愛して主に喜ばれ
る生活に励みましょう。

二〇〇四年スタートして満

時の声

「光陰如矢 油断するな
道一すじ ゴーマンに
注意されたし」 一月一日
八十三翁（氏名）

人生と信仰の先輩から昨年
一月二日に頂いた、心刺され
た文言の賀状である。

「光陰矢の如し」は本当に
実感を伴うものである。「お
じいちゃん」と呼ばれる事な
ど考えた事も思った事も無い
のに年齢も立場も「おじいち
ゃん」になった。

「時は十分にある。悔改め、
信仰を急ぐな。今を楽しめ。
死ぬのは人事でまだまだ先の
話だ」と悪魔はささやく。

狭き門、細き道ではなく、
人生は多種多様で大道無門、
道は人の数だけある。また、
弱肉強食の世の中、弱さを見
せれば付け込まれ食い物にさ
れる。唯我独尊であれ。しか
し謙遜の皮をかぶって上手に
世渡りをせよ。と世の賢人？
は教えを垂れる。

御子イエス・キリストに倣
って謙遜の限りを尽くし、涙
を流し、試練の中で主に仕え
福音宣教に邁進し、命を献げ
殉教した弟子たちの声が聞こ
える。「万物の終りが近づい
ている。だから、心を確かに
し、身を慎んで、努めて祈り
なさい。何よりもまず…」と

二〇〇四年スタートして満

日本福音教会連合 教会巡り④

さんびのあるれる教会

鴻南福音教会

牧師 阿部俊昭

山口県は、ブライドの県であり、その県庁所在地山口はまさにブライドを地で行っている街かも知れませんが（山口県、市民のみなさんお気に障つたらごめんさい）。かつて明治維新がこの山口から（萩から、といつてもいい）火の手をあげたように、現在の日本の土台を起し、貢献した街として誇っているばかりか、最近ではかのフランシスコ・ザビエル（ザビエル）の初期の宣教拠点となったゆえ、日本のクリスマスは山口から、と教会関係とは全く違つたサイドから発言があつたりしています。

それが伝道の働きの障害となるか、はずみとなるかは、微妙ですが歴史ある街として今日に至っています。鴻南福音教会は、その山口市の中央にあります。維新百年記念公園のすぐ南に位置し、中央とはいふものの、畑と田んぼの真ん中に囲まれて立っているような通常は保育所を運営している小さな教会です。伝道が開始されたのは現牧

師が山口福音教会副牧師でした平成四年の春からでした。山口福音教会の信徒でした岡本姉妹からの場所の提供により保育所兼教会として今日に至ります。

そもその始まりは前年十月からの保育所「こひつじえん」の開所からでした。当初から懸案されていた保育園による地元での定着を目指したもので、かなり小さな施設であり、交通面でも不自由さを強いられるような環境と、大規模保育園などの登場により、継続の危機を幾度もちつつ、主の恵みと憐れみにより今日までくることができました。

開拓当初から教会のスローガンとして「さんびのあふれる教会」として礼拝にはできるだけ多くさんびを取り入れ、大小様々な工夫を繰り返して参りました。

保育所のメンバーが多いときなどは、維新公園の児童センターを利用し、コンサートを行なつたり、チャペルコンサートも何度か行つて参りました。

集会の中心は先に紹介しました毎週の日曜日十時からもたれます礼拝です。当初さんびは牧師によるギターの伴奏でワークショップを中心にオーパーヘッドプロジェクトを使用したもので進められていました。しかし、コンピュータの登場により伴奏面では機械頼りに移行し、オーバーヘッドに代わり液晶プロジェクトを使用しているの歌詞の揭示へと変わっていき、主な流れは今日に至っています。只、伴奏は、人の手によるものすばらしさに代わるものはありません。牧師のこともたちのピアノによる伴奏を少しずつ増やしています。まだ歌われる曲すべてがピアノ伴奏とは言えませんが、今後の展望となっております。

礼拝での毎週の説教は、現在ヨハネの福音書を読み進んでいます。説教スタイルは、比較的高レベルなものが多くはないかと自負していますが、常にテキスト（聖書）に立つて福音を明確に語ることを毎回の目標としています。目標

とは裏腹なときも少なくないかもしれません。毎週水曜日の夜七時から祈禱会がもたれています。各種聖書日課を使い、かなり家庭的な状態でもたれて長くなります。

今年この教会の主題聖句はヨエル書二章二十八節にして、大きなテーマは「夢」にしました。これは、明らかに神様からのイルミネーションとい

えるもので、私たちへの素晴らしい励ましとチャレンジと受け取っています。与えられたみことばがそのまま反映されるということは、きわめて理想的なことですが、実際はそうまでいかず、むしろ、そしてあるべき姿として今年一年はもろろんのこと、これからの信仰生涯において目指すべき指針として掲げていこうと思つています。

今年この教会の主題聖句はヨエル書二章二十八節にして、大きなテーマは「夢」にしました。これは、明らかに神様からのイルミネーションとい



阿部先生とその御家族

歌いつつ歩まん

賛美の上に座しておられる主

浜田キリスト教会 牧師 中島 恵美

望みは失せ、詮方尽きて、心弱り思いしおれ、再び立上る力無き時にも、神を信ぜよ、神を信ぜよ、神を信ぜよ、神を信ぜよ、神を信じて勇み立てよ (新聖歌四四一)

賛美をとおして主と交わる恵みを体験したのは、今から四・五年前のことになりました。当時、特別大きな問題があつたわけではありませんが、自分の無力さ、弱さを目のあたりにして、賛美をすることも祈ることもできずに時間ばかりが流れていく、その様な時期がありました。

その中で賛美のCDを聞く機会があり、その賛美をとおして主を仰ぐ力が与えられました。信仰の目を上にあげようにと励まされました。何度も何度も繰り返して聞くうちに、歌詞をとおして主の語りかけをいただくことができ、支えられたことを思い起こします。この時ほど賛美はすばらしいと思つたことはあ

関東聖会の恵み 恵みとしてのホーリネス

湘南教会
信徒 須貝 元

昨年十一月二日の召天者記
念礼拝後、牧師ご一家と田代
姉、林姉とで、三々五々「日
光オリーブの里」に向かいま
した。

現地から新高徳駅まで迎え
に来てくれた車で聖会講師の
藤巻充先生とご一緒に「オ
リーブの里」に着いて、「二
十数年振りでお目にかかりま
した。」とご挨拶しました。

先生は私の事を覚えておられ
なかつたようですが、当時の
事をお話すると、「懐かし

いねえ」とおっしゃって下さ
いました。

午後の第一聖会は、「ホー
リネス」は「恵み」ですと話
され、どんな顔でも自分の孫
は世界一可愛いように、汚れ
ている私たちを神様は一方的
に愛して、「あなたは潔い」
と断言して下さいているのだ、

「恵みです。」と話され、「本
当にそこから出発する時、隣
人を愛することが出来るよう
に、不可能に見えることが可
能になる」と力強く且つやさ

しい笑顔で語られました。

私は、「潔さ」は努力して、
余計なものを聖別、排除して
いく大変努力のいるものだと
今まで誤解していましたので、
肩の荷が下りた思いでした。

翌三日の早天祈祷会は、「オ
リーブの里」一戸チャプレン
が、「わたしはあなたの名を
呼んだ」(イザヤ四十三・一)

「おかあさん」ではなく、実
名を呼ばれることの幸福につ
いて話されました。

午前の第二聖会は、

「私は、私を強くして
下さる方によって何事
でも出来る」(ピリピ
四・十三)から語られ、
藤巻先生のご生涯の色
々な転機に神様が働ら
かれ、相働らきて益と
なる信仰の幸いを学び
ました。

事で霊肉の糧を十分に戴いて
山を下りることが出来ました。
私は聖会の最後に祈りを指
名され、泣きながら感謝しま
した。先生にお別れする時、
「これで私の人生が変わりま
す」と申し上げました。

久し振りの聖会参加で恵ま
れましたが、どうかこの状態
を維持してしままいように
したいと思っています。行か
れなかつた方々に少しでも恵
みをお分かちしたいと記しま
した。

「潔め」とは「恵み」です。
(イザヤ書四十三章一節)

借金があっても、家族がバ
ラバラでも、恵みによって始
まる神様のご計画に間違いな
いはずと思つて、自分も頑張
りたいと思つております。

「ヤコブよ、あなたを創造さ
れた主は、こう言われる。イ
スラエルよあなたを、造られ
た主は、いまこういわれる。
『恐れるな、わたしはあなた
をあがなつた。』
わたしはあなたの名を呼ん
だ。あなたは、わたしのもの
だ。』

「わたしはあなたをまだ母
の胎につくらぬさきに、あ
なたを知り……」
(エレミヤ書一章五節)

ご恩寵を覚えるのである。
それは(一)教会に導かれ
た事(二)洗礼を受けた事(三)
肺がんの手術の三つである。
最初の教会に導かれた事は、
とても不思議で偶然とは思え
ない。年若き日、町うちの本
通りを歩いていると、真っ白
な一枚のポスターが目にとま
った。「キリスト教伝道講演

りませんでした。
思い出の曲はたくさんあり
ますが、中でも新聖歌四四一
番「のぞみはうせ」が心に残
っています。歌詞が一番二番
三番とも私の心の姿にびつた
りしているように思いました。

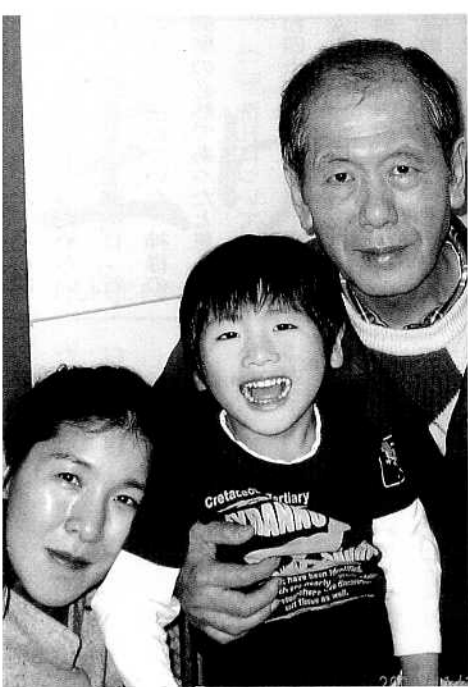
曲のくり返しの部分は、
「神を信ぜよ、神を信ぜよ
神を信じていさみたてよ」
と歌われています。この言葉
をもって主が私に、「いつま
でも自分ばかり見つめること
をやめなさい」と語りかけて
おられるように感じて、心に
強く迫ってくるものがありま
した。

それぞれの歌の基となつた
みことばを聞いてみたことも
ありました。

この様な経験をとおして、
賛美の中に主は住んでおられ
ることを実感し、今まで以上
に賛美が大切なものとなりま
した。

そして、問題を抱えて悩み
デポジションを守ることがで
きないで苦しい思いをもつ話
を聞くことがあれば、賛美の
CDを聞くことを勧めていま
す。

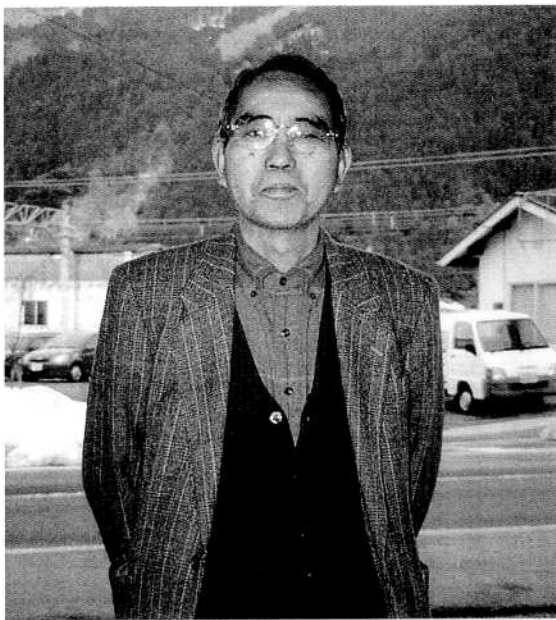
「イスラエルのさんびの上に
座しておられるあなたは
聖なるおかたです。」
(詩篇 二十三篇三節)



須貝さん御一家

素晴らしい環境と食

特に三つの事柄の中に神様の



会」の案内であった。その瞬間、不思議にも何のためらいも、心配もなく、即座に「行こう」と決めていた。神様の御業の必然であったと思う。

(二) 洗礼については、昭和四十年七月十四日、青山恒先生を始め、四人の先生方の前で洗礼を授けて戴いた。江尾教会の畳に正座し、頭に手を置いて祈って戴いた。顔はゆがみ、嗚咽しながら、式の終りまで大粒の涙が流れ落ちた。それまでも、数年間、熱心に求道生活を続けていたのだが、イエス様の十字架を受け入れる事は出来なかったのである。然し、この時は神様の

の強い力で背中を押し出されたように思う。自分の意思ではなく……

洗礼式の前年に結婚し、満ちたりた幸せな生活を送っていたが、両家の親同士の激しいさかいが元で、妻との離婚を余儀なくされたのである。生涯忘れ得ぬ悲しみの思い出である。

夕闇の中、前を流れる日野川の堤防にうずくまり、祈りとも、叫びともつかぬ心のうめきを神様の前に注ぎ出した。この苦しみから抜け出すのに、一年の長きを要した。然し、神様はその失意の中から立ち直らせてくださったのである。

(三) 肺がんの手術については、今から十年程前、風邪をこじらせ、町の病院に行った所、その日だけ、鳥大付属病院の教授が担当で、レントゲンの結果、初期の肺がんが見つかったのである。然し、私の心は平安で動揺がなかった。手術のさ中にあっても神様が共にいてくださったのである。

私は宗教に関心を持ち、自らキリスト教を求めたのではない。私は内向的で、無口で男性的な強健さにも欠け、孤独であった。

然し、神様は「……母の胎につくらないさきに、あなたを知り……」と選び取り、恵みを増し加え、今では神様の大きなご恩寵の中に自己を見出すのである。

現在は妻と長男、長女にも恵まれ、長女は嫁ぎ、二人の孫も与えられた。母も九十八歳の長命で、その救いの為に祈る毎日である。

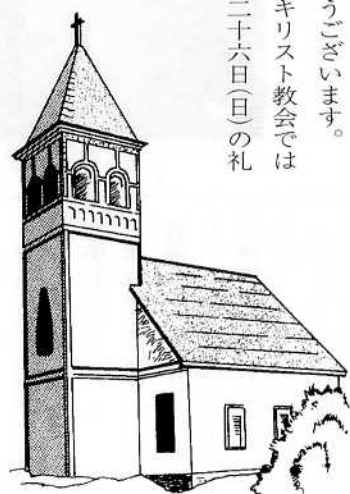
江尾キリスト教会は少人数だが、共にいたわり合いながら恵まれた信仰生活を送っている。

報告・案内

- ◆日本福音教会連合第三十九回総会は、三月二日(月)、三日(火)、コンフォートホテル岡山にて開催されます。
- ◆引き続き、牧師研修会が三月三日(火)、四日(水)、岡山中央キリスト教会にて行われます。テーマは「教会と再臨」です。覚えてお祈り下さい。
- ◆湘南教会の小山トシ子姉は十二月二十一日(日)、愛する主の御許に召されました。

報告・案内

- ◆享年八十四歳。湘南教会では、今年一月二十五日(日)の礼拝にて清水昭雄兄の転入会式を行いました。
- ◆多摩キリスト教会では、昨年十二月二十一日(日)クリスマス礼拝にて、金 榮善姉の洗礼式を行いました。おめでとうございました。
- ◆岡山中央キリスト教会では昨年十月二十六日(日)の礼拝にて、清水香苗姉の転入会式を行いました。又、昨年十二月二十一日(日)のクリスマス礼拝にて、松村宣子姉、大濱尚兄、室野大地兄、志熊大使兄の洗礼式を行いました。おめでとうございます。



日本福音教会連合 第39回総会及び牧師研修会

会場 総 会 コンフォートホテル岡山
 牧師研修会 岡山中央キリスト教会

3月2日(月)	3月3日(火)	3月4日(水)
	6:30 早天祈祷会 (岡山中央キリスト教会)	6:30 早天祈祷会 (岡山中央キリスト教会)
	9:00 総 会	9:00 研修会Ⅲ 11:15 閉会 礼拝
13:30 理 事 会		
15:00 総 会	15:00 研修会Ⅰ	
19:00 総 会	19:00 研修会Ⅱ	